

北九州市生涯学習推進計画《“学びと活動の環”推進プラン》(素案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済み、または計画期間中に実施予定・検討を含む
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

NO	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
《計画全般に関わるもの》 (5件)				
1	過去の委員の方々の貴重な意見を踏襲し、生涯学習課の皆様の御努力により見事な計画案が作成されていることに感謝いたしました。計画案が限りなく実行されることを祈念しております。	引き続き、次期計画に基づき本市の生涯学習の推進に努めていきます。	1	④
2	生涯学習に関する考察に対し読めていないのではないか、と不安に思います。	次期計画では、生涯学習の考察として本市の状況、市民意識、現計画の成果と課題を踏まえ、現計画の総括を記載していません。総括によって導き出された課題に対応する取り組みを「第4章 施策に関する具体的な取り組み」に記載しています。	2	①
3	「課題の解決」はとても分かりやすくかかれていましたが、それを実際にどのように持っていくかが重要なカギになると思われます。	現代的・社会的な課題は多様で複雑化しています。そのため、行政だけではなく自治会、まちづくり協議会等の地域団体、社会教育関係団体、学校、NPO、ボランティア団体、企業などの地域社会のさまざまな組織が連携し、それぞれの強みを活かしながら、課題解決に取り組んでいきます。また、地域の課題解決には、地域において中心となるリーダーが必要となるため、地域のリーダーを育成していきます。	2	①
4	私自身は今、学生で学びの場があり、それをすることが本業であるため、ボランティアやまちの活動などに参加しやすいが、社会人で仕事をしている人たちは、休みが合わなかったり貴重な休みの人もいたりするため、なかなか仕事以外の事に手を出せないんだと思う。そのためいくら目標を立てたからといっても、それに費やす時間がない。計画目標を達成したいのなら会社や職場の休みとは別に、このための休みを条例でつくるくらいのことをする必要があるのではと思う。甘い考えだとは思いますが…	「生涯学習意識調査」結果では、「学習活動」をした割合が30歳代と40歳代は平均以下となっています。本市では、働く人が仕事と家庭・地域における活動を両立できるよう、仕事と生活の調和(ワークライフバランス)の実現を目指し、企業への働きかけを行っています。次期計画においても、いつでも、どこでも生涯学習ができる環境づくりを支援することで、成人期の生涯学習を推進していきます。	2	①
5	人生100年時代に向けて生涯学習社会を広めていくことはとても重要なことだと思います。今でさえ超高齢社会となっている日本が、さらに高齢化が進むことで介護される側だけが増え続けてしまうことは、絶対に避けなければいけないと思います。そういうことを含めた上でも生涯学習社会をより広め高齢者の方でも元気な方がたくさんいる社会の実現を目指していくべきだと思います。	「超高齢社会」において、高齢者が健康で、生きがいをもち、その豊富な経験や知識・技能を活かし、生涯にわたって充実した生活を送ることができるような取り組みが求められます。そのため、「学び」と「活動」を通して、仲間づくりや多世代交流を行い、喜びや誇りを感じながら健康づくりや生きがいづくりにつながる多様な学習機会を提供していきます。	2	①

北九州市生涯学習推進計画《“学びと活動の環”推進プラン》(素案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済み、または計画期間中に実施予定・検討を含む
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

NO	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
《第3章 生涯学習のこれからの方向》 (3件)				
6	<p>人生100年時代などと大上段に構える必要は全くない。                      個人の学びの目的は自分自身を高めることに帰する。                      学びに対しては様々な学習機会の提供と参加のきっかけづくりが重要。                      (P39(1)それが、P43の自己実現に繋がっていく)                      人材の発掘とか育成とかは後からついてくる。</p>	<p>次期計画を策定するにあたり、参考にした国の「第3期教育振興基本計画」において、「人生100年時代を見据えた生涯学習の推進」が、目標の一つとして掲げられていることから、次期計画でも、同様に基本方針に位置付けています。                      次期計画においても、市民一人一人が、心豊かな人生を送れるよう市民のニーズに沿った学習機会の提供と参加のきっかけづくりに努めていきます。                      また、学びが個人の生きがいや知識・技術の向上だけでなく、地域づくりなど様々な活動に繋がるように、人材の発掘・育成の仕組みづくりを進めていきます。</p>	2	①
7	<p>世界の目標であるSDGsを関連する主な目標とすることで目指すところが明確になっていて良いと思った。</p>	<p>引き続き、次期計画に基づき、生涯学習の取り組みを推進することでSDGsの目標達成に努めていきます。</p>	1	④
8	<p>たくさんのSDGs目標と関連している点は非常に良いと思う。</p>		1	④
《第4章 施策の柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり》 (21件)				
9	<p>市民の一人として希望するのは以下の通りです。(1)即生活に利用できるもの(2)年数に応じて生きてくるもの なお、市民は、格差社会により、(1)の講座を望む傾向が強くなっているとも感じます。また、新型コロナの影響もあり、オンデマンドの授業を希望する傾向もあると感じます。(対面授業を受けたいが、安全面で出来ない。withコロナ、という状況の中で、というわけです)                      具体的にどのような講座を望むか、については以下の通りです。(1)生活のための園芸、農業に関連するもの。公園での安全に食べられる花壇など。(2)衛生に関するもの。掃除。洗濯。料理。(3)スマートフォン、タブレット講習。(学校教育に導入を始めているそうです)(4)簡易な道路補修(イギリスで行われています。雑草や穴を埋める。)(5)AED講習(心臓マッサージ)などの救命講習。</p>	<p>「(1)即生活に利用できるもの」については、次期計画においても、引き続き、生涯学習関連施設でスマートフォン講座や健康教室・体操など、様々なニーズに対応した学習機会の提供に努めていきます。                      また、生涯学習施設に行かなくてもオンラインを活用するなど学びを継続できる仕組みづくりを進めていきます。                      「(2)年数に応じて生きてくるもの」については、次期計画においても、乳幼児期、青少年期、成人期、高齢期のライフステージごとに応じた、ニーズや課題に応じた学習機会を提供していきます。                      次期計画においても、ご指摘の講座内容を含め、市民の様々な市民の様々なニーズに対応した学習機会の提供に努めていきます。</p>	2	①

北九州市生涯学習推進計画《“学びと活動の環”推進プラン》(素案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済み、または計画期間中に実施予定・検討を含む
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

NO	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
10	ある一定数の市民は「学習」に対して意欲はあるが、学びは始める「もう一歩」が足りない様に思えます。	「生涯学習意識調査結果」では、学習活動を行っていない理由として「仕事や家事等が忙しくて時間が取れない(59.4%)」が最も多く、2番目に多いのは、「学習活動を始めるきっかけがない(35.0%)」となっています。そのため、次期計画においても、市民のニーズに沿った学びを様々な機会において提供し、生涯学習に参加できるきっかけづくりを支援していきます。	2	①
11	市民センターの講座を「生涯学習」としてとらえているかどうか不透明に思えます。	「生涯学習意識調査」結果では、市民センター利用者、生涯学習センター利用者が生涯学習の「言葉も意味を知っている(75.3%)」との回答が最も多くなっています。引き続き、次期計画においても、市民センター等での講座やイベント等、生涯学習事業の実施を通して、市民に生涯学習の大切さを伝えていきます。	2	①
12	市立図書館の位置づけについて 社会教育法第9条1項において、「図書館及び博物館は、社会教育のための機関とする」と明記されているが、図書館については、素案56Pモニタリング項目に、一行だけで記載されているものの、具体的に何も示されていないため、位置づけしていないのか？ 生涯学習課が教育委員会から離れたこと及び図書館への指定管理導入により、社会教育施設として認識していないと推測する。指定管理の館長は司書でも、正社員でもなく、モチベーションが感じられない実態からは、期待できない。例えば、穴生学舎でタブレット講座を実施しているが、八幡西図書館で高齢者対象にOPAC活用法・データベース利活用を中心として「図書館活用講座」という連携できないのか。実際、高齢者以外にもIT弱者の市民は多い。OPAC操作ガイドは、福岡市では横に置いているが、本市で置かない理由を聴くと、「メーカー作成分が見当たらないので捜している」とのこと。これでは、社会教育施設としての役割が果たせない。この件に関し、生涯学習課の考え方を知りたい。	次期計画でも、図書館を生涯学習施設として位置づけており、市民に生涯学習の機会を提供する重要な施設だと考えています。 また、市立図書館は社会教育法の精神に基づき制定された図書館法に則り、市民の教育と文化の発展に寄与することを目的に運営しています。 OPAC(蔵書検索)操作ガイドについては本市でも令和2年10月から設置したところです。	2	③

北九州市生涯学習推進計画《“学びと活動の環”推進プラン》(素案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済み、または計画期間中に実施予定・検討を含む
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

NO	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
13	素案56Pの「モニタリング項目」市立図書館における市民一人当たりの貸出冊数⇒市立図書館における(今まで利用のなかった)新規貸出利用者に変更を希望します。	ご提案の項目については、データの抽出が困難であり、また従来からの統計資料と齟齬が生じることから変更の予定はありません。	3	③
14	まなびネットひまわりに、市内の社会教育施設(博物館は県教委の教育便覧に記載のある登録博物館以外も対象・美術館・図書館)をリンクするよう希望します。	次期計画では、生涯学習に関する情報提供システム(まなびネットひまわり)を充実させることとしています。 具体的には、講座等の情報量を充実するとともに、新たに活動団体(NPO法人・ボランティア団体等)の情報を掲載することとしています。さらに、ご指摘の市内の社会教育施設を含め、学習情報の充実に努めていきます。	2	①
15	若者世代(10代、20代)には、あまり必要性が伝わってないと思うので、重要性を伝えた方がいいと思います。(チラシに掲載する際など)		2	①
16	私は21年間北九州市に住んでいます。しかし、このような行政の取り組みについて全く知りませんでした。市民に多く知ってもらうために、チラシのネーミングを簡単にしたり、目につくところにはったり、より多くのメディアで取り上げたりするなどの工夫が必要だと思いました。		2	①
17	行政が作るサイトは自分で探さないと出てきません。InstagramやYouTubeは関連したものが次々と出てきてつい見えてしまいます。ついつい見えてしまうような策をお願ひします。	ご意見のとおり、「生涯学習意識調査」結果では、生涯学習の認知度や参加度の回答が10代、20代の若い世代は全体平均以下となっています。 次期計画では、ホームページ・SNSなどのウェブ媒体を活用するなど、若い世代にも情報が届きやすくなるよう工夫していきます。	2	①
18	<主な事業>は、とても良い取り組みだと思ったが、自分自身が知らないものばかりだった。学生や若者が、知れるような宣伝(Twitter・Instagram等)をしたら良いと考える。生涯学習情報システムの講座も興味深いものばかりだったが、やはり若者が知るきっかけが必要になってくると感じた。	また、様々な媒体を通じて、生涯学習の重要性を伝え、生涯学習がより身近なものとして捉えてもらえるよう、工夫していきます。	2	①
19	生涯学習の推進計画が現在、市などで大きく取り扱われているのだということが理解することが出来ました。生涯学習というのを知っていても、実際に行う人は少ないと思うので、もっともっと呼びかけていくことが大切だと思いました。		2	①



北九州市生涯学習推進計画《“学びと活動の環”推進プラン》(素案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済み、または計画期間中に実施予定・検討を含む
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

NO	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
20	分かりやすく入手しやすい情報提供をする。		2	①
21	生涯学習情報システム(まなびネットひわまり)のサイトを開いて見ましたが、講座に関して検索をかけないと見つけることができないので最初の画面に「子育て」「歴史」「防災」などカテゴリー分けしていくつか分けられていると参加したいものが見つかって若者の参加率も増えていくのではないかと思います。	次期計画では、生涯学習に関する情報提供システムを充実させることとしています。具体的には、学習情報量の充実を図るとともに、開催日や開催地、ジャンルから情報を簡単に検索できる等、市民がより利用しやすくなるように改修します。	2	①
22	大人が生涯学習を簡単にできるよう、時間や曜日に配慮するために、個々に希望をとる必要があると思った。	生涯学習事業の実施にあたっては、時間や曜日など、学習者のニーズの把握に努めることで、学習活動に参加しやすい環境づくりに取り組んでいきます。	2	③
23	幼児期～高齢期までの生涯学習があり、すべての人がライフステージに応じた学びができると思う。	次期計画においても、市民一人一人が心豊かな人生を送れるよう、乳幼児期、青少年期、成人期、高齢期といったライフステージに対応した学習機会を充実していきます。	2	①
24	現状、目標を数値化することで初めて見た人でも分かりやすいと感じた。生涯学習を推進することで地域が豊かになる。そのために皆に、今現在の状況を知ってもらい理解してもらうことが重要である。なので、取り組みを分かりやすくしたほうが良いと感じた。	地域の様々な取り組みについては、市民センターで発行する市民センターだより等で住民に周知しています。次期計画では、印刷物等の紙媒体や、ホームページ・SNSなどのウェブ媒体も活用しながら、地域の取り組みを分かりやすく提供していきます。	2	①
25	コロナの影響による新しい生活様式の中での生涯学習も取り入れる必要があると感じた。	次期計画では、生涯学習関連施設に行かなくてもオンラインを活用するなど「学び」の機会の提供や人とつながることができるような、学びを継続できる仕組みづくりを進めていきます。	2	①
26	学習活動時間は、「とれない」というより「とっていない」だと思うので、便利なiPadを導入する。	次期計画では、生涯学習関連施設に行かなくてもICTを最大限活用するなどにより、「学び」の機会を提供していきます。	2	①

北九州市生涯学習推進計画《“学びと活動の環”推進プラン》(素案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済み、または計画期間中に実施予定・検討を含む
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

NO	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
27	学習や場所の確保をする。	次期計画においても、多様なニーズに対応した学習機会の提供に努めるとともに、生涯学習関連施設が市民にとって利用しやすい施設になるよう充実を図っていきます。	2	①
28	「学びと活動の環」推進プランは、体系的にも内容的にもとても理解しやすくまとめられていると感じました。 この施策の中で、私が最も充実していただきたいと思ったのは、「(2)気軽に相談できる体制づくり」です。何を学び、その学んだことを活動(社会貢献)へつなげるには、その前提に(前段のステップで)一人ひとりが、「どんな人生をすごしたか」すなわち、そのひとの「ありたい姿」を明確に描くことが重要だと思います。どの様な「学び」の相談体制をつくるのが、本プランの鍵のひとつではないかと思います。	次期計画においても、生涯学習関連施設などでの相談事業を実施していくとともに、市民の多様なニーズに対し、適切なアドバイスができる人材を育成し、相談窓口などに配置するなど、市民が気軽に相談できる体制づくりに取り組んでいきます。	2	①
29	私が受講したことのある市民センター講座について書かせていただきます。 地域の中にある市民センターは学びの場としてだれでも気軽に行ける場所であると思います。戸畑区の各市民センターで行われている市民センター講座は、いろんな内容の講座があり、自分の興味のあるもの、やってみたかったものなどを受講することができるので学びのきっかけづくりになりとても良いと思います。 講座を受講することがきっかけで、やってみたかったことが趣味となり、好きなことをみつけると生きがいにもつながっていくと思います。 市民センターの講座は平日の午前中の講座が多いので働いている方など、時間的にむずかしい場合があると思います。午後からの講座、夜からの講座、土曜日の講座などがあると参加しやすくなるのではないかと思います。 市民センター講座へ行くと、地域の方の知り合いがふえますが、年代がちがうと、なかなか1回の講座くらいでは、仲間づくりはむずかしいように思います。 今後もぜひ参加したいと思えるような内容の市民センター講座を計画していただけることを期待しています。	市民センターで実施している生涯学習市民講座では、学習プログラムの企画する際に、学習者の属性(年齢・性別・職業等)の違いやこれまでの学習経験の違いに応じて、学習内容や開催する日や時間等を変えて実施しています。また、講座が仲間づくりにもつながるよう基本的には、1講座3回以上のシリーズとして考えております。 今後とも、市民が参加してみたいと思えるような魅力的な講座づくりに努めていきます。	2	③

北九州市生涯学習推進計画《“学びと活動の環”推進プラン》(素案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済み、または計画期間中に実施予定・検討を含む
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

NO	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
《第4章 施策の柱2 「学び」と「活動」による人づくり》 (7件)				
30	ボランティアを通してイベントを開催してほしい。	<p>「生涯学習意識調査」の結果では、「地域のために役立ちたい」と思っている人は約7割います。次期計画では、様々な地域課題の解決に取り組むための学習機会を提供し、地域ボランティアの発掘・育成に取り組んでいきます。</p> <p>また、ボランティアが市民センターで実施している文化祭や夏祭り等のイベントにおいて、様々な人たちと知り合ったり、協力しあうことを通して、人と人とのつながりが広がるよう支援していきます。</p>	2	①
31	地域コミュニティの希薄化を防ぐために、地域全体の人に参加する活動やボランティアなどの活動を増やす。		2	①
32	ボランティア活動などをしたと考えてる人は多いが、現状参加している人数は半分にも満たしていないため参加意欲が湧く取り組みをしていく必要がある。		2	①
33	地域の行事を増やす。		2	①
34	地域ボランティアをしたい人はたくさんいるが、実際に行っている人はまだまだ少ないので、地域ボランティア・リーダーの発掘・育成に力をそそぐと良いと思う。		2	①
35	地域学習や活動を通して経験がある人材を見つけ出す。	次期計画では、「学び」と「活動」の機会を充実させることにより、多様な課題を解決するための能力や技術が育まれた人材の発掘・育成に取り組んでいきます。	2	①
36	スポーツの活用も…北九州のスポーツコミッションをつくる。そこでスポーツボランティアを育成し、リーダー養成も行う。PTAの活用も。	<p>スポーツコミッションについては、平成26年に商工会議所等とともにスポーツ大会の誘致組織を設立し、オリンピックの事前キャンプや大規模国際大会の誘致に取り組んでいます。</p> <p>また、スポーツボランティア研修会、リーダー養成研修会を開催しています。今後も開催を継続し、スポーツボランティア、スポーツボランティアリーダーの養成に努めていきます。</p> <p>さらに、家庭・地域・学校が連携・協力し、例えば、家庭教育支援やコミュニティ・スクール、地域学校協働事業、地域の文化祭等様々な事業やイベントを実施しています。今後とも家庭・地域・学校が連携・協力し、より良い地域づくりに取り組んでいきます。</p>	2	④

北九州市生涯学習推進計画《“学びと活動の環”推進プラン》(素案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済み、または計画期間中に実施予定・検討を含む
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

NO	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>《第4章 施策の柱3 「学び」と「活動」によるつながりづくり》 (5件)</p>				
37	シビックプライドの醸成について、行政のカタカナ用語使用は、市民目線ではなく、強調すると悪乗りのような違和感があり、しらけた気分になる。小池知事の評判が悪いのを参考に再考して欲しい。私はかつて同和行政がからむ焚書事件があったこと等の数々の不祥事事件のため、誇り、愛着はありません。	次期計画を策定するにあたり、参考にした国の「第3期教育振興基本計画」において、「地域への愛着や誇りを子どもたちに育むこと」が重要とされています。また、市が策定した「北九州市教育大綱」にも、「SDGsの視点を踏まえたシビックプライドの醸成」が掲げられていることを踏まえ、次期計画でも、本市への愛着・誇り(シビックプライド)の醸成を盛り込むこととしています。	3	③
38	コミュニティスクールに関して、素案の79Pに記載しているが、全く理解できないので、わかりやすく書き直して欲しい。⇒市型・国型の違い、現状の取組と今後をどうするか具体的に書いて欲しい。	ご意見を受けて、下記のとおり修正します。(下線が追加及び修正部分)  P78本文 そのため、引き続き、様々なボランティアと連携し、各学校の実情に応じて、地域全体で学校教育を支援する取り組みを進めます <u>また、地域の方々や保護者などの声を取り入れ、更なる連携・協働を図り「地域とともにある学校づくり」を進めるため、学校の運営方針や運営に必要な支援等を地域とともに考える「コミュニティ・スクール」の設置を推進します。</u>  P79主な事業 ○コミュニティ・スクール、地域学校協働活動事業 <u>「コミュニティ・スクール」設置の推進とともに、これまでの、地域が学校を支援する体制をベースに、地域と学校とが共通の目的・目標に向かって、協働して子どもたちの成長を支える仕組みを「地域学校協働活動」とし、一体的な推進を図ります。</u>	3	②
39	個人による地域や人とのつながりが強まれば、孤立する人も少なくなり仲間づくりも地域の愛着などが生まれシビックプライドの醸成もできてくる。	次期計画では、「学び」と「活動」の機会の提供を通じた、つながりから生まれるシビックプライドの醸成を図っていきます。	2	①
40	スポーツを通して縦・横の人のつながりができ、それもシビックプライドの育成につながると思うので、シビックプライドの醸成の所に生涯スポーツを取り入れているのはいいと思った。	次期計画では、スポーツの振興によるシビックプライドの醸成に努めていきます。	1	④



北九州市生涯学習推進計画《“学びと活動の環”推進プラン》(素案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済み、または計画期間中に実施予定・検討を含む
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

NO	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
41	現代的、社会的な課題の解決に向けた学習機会について、施策の視点「つながりづくり」「地域づくり」に重点を置いた意見です。高齢の方が、これまで得てきた“生活の知恵”を若者、子育て世代へ伝える。「学び」の機会があると多世代のつながりの形成へつながり、それが地域づくり延いては、ネットワークづくり、天災時の共助が可能なつながりができるのではないかと考えます。	次期計画では、引き続き、高齢者が、その豊富な経験や知識・技能を活かし、仲間づくりや多世代交流を行える学習機会を提供していきます。 また、地域における、人と人とのつながりづくりを進めることで、地域コミュニティの維持・活性化につなげていきます。	2	①
《その他》(10件)				
42	コロナの中での活動とても考えさせられます。そこで、休耕田や畑を使用して、みんなで農業をしてはどうでしょう。野菜や田うえなど外での活動は、人数をわりと多くで出来、収穫感謝祭などのたのしみもできるのではと思います。	ご意見として承ります。	4	④
43	チラシに載っている言葉が堅苦しい気がします。キャッチフレーズのようなものを載せると若い世代の方々も見る気がします。	ご意見として承ります。	4	④
44	防犯対策として大学生が、小・中高生の登下校の見守りをする、大学生にとっても1限の出席率が上昇し、防犯対策になると思います。	ご意見として承ります。	4	④
45	私は、地域の高齢者と関わりがもてる環境が欲しい。人生談や相談・昔の話など、できるような時間があったら、地域のことをもっと好きになれると思う。	本市では、概ね小学校区毎に地域における住民の交流及び自主的な活動の拠点として市民センターを設置しています。 今後とも、地域において子どもや若者、高齢者といった多世代が交流できる機会を提供していきます。	4	④
46	時代に合わせて情報化、グローバル化の進展に合わせてさまざまな効果を得られると感じた。	生涯学習の分野においても、情報化やグローバル化の進展に対応した学習機会の提供に取り組んでいきます。	4	④
47	「生涯学習」についての内容を市町村などで定期的に話し合う機会を設ける時間を増やすなどが良いと感じた。	社会教育、生涯学習関連分野に関する諸計画の立案や調査研究を行う市の「社会教育委員会議」において、定期的に、計画に掲げる事業等の進捗を把握するとともに、特定のテーマを設定し、議論を深めるなど、計画を着実に推進していきます。	4	④
48	具体的な戦略を！！生涯学習コミッション的な組織をつくり、タスクフォースのような集団が、ターゲット地域の課題に取り組んでいく。		4	④
49	各取り組みについて、現場の情報を一元的に集約していく機能をつくってはどうか。その上で取り組みを積み重ねていく。	各部局で実施している生涯学習事業の取り組みをそれぞれが共有し、より良い取り組みへとつなげていきます。	4	④

北九州市生涯学習推進計画《“学びと活動の環”推進プラン》(素案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済み、または計画期間中に実施予定・検討を含む
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

NO	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
50	北九州の歴史について市役所の方や高齢者の方からお話を聞き、新聞を作る。	ご意見として承ります。	4	④
51	市民センターにおける生涯学習活動は、地域・人づくりの要であり、最も重要な位置付けをするべきだと思うのですが、年々予算は減らされて、これでは年間を通して生涯学習の“推進”なんて無理ではないですか？もちろんお金だけではありませんが、もし、予算を削るなら、市民センターでも受講料を集めてよい、それを講師料にあててもよい。というように改正にしていただけるといいと思います。実際、市民センター以外の場所で多くの有志がそのような活動(講座)をされてます。でも、やはり公的な施設(地域の市民センター)で予算を確保して質の高い講座をすることで市民の皆さんの意識を高め、学びが活動につながっていくのだと思います。これ以上予算を減らさないで下さい。	市民センターにおける生涯学習事業は、地域づくり・人づくり・つながりづくりに大きな役割を果たしていると考えています。市民センターでは、限られた予算の中で創意工夫しながら事業を展開していただいています。引き続き、必要な予算の確保に努めるとともに、これからの生涯学習事業の在り方や取り組みについて、検討していきます。	4	④